

平成30年度事業報告書

公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センターは、循環型社会の構築のため、廃棄物の適正な循環的利用及び処理処分に関する調査研究を行うとともに、広く県民に対し廃棄物に関する知識の普及・啓発を図り、もって県民の快適で住みよい生活環境づくりと産業経済の健全な発展に資するため、次の事業を行った。

1 研究開発事業

廃棄物ごとの再資源化技術や社会システムの研究開発を通じて循環型社会の形成を推進するために、産学官民による研究会7テーマ及び事業化に向けた研究を行う共同研究プロジェクト4テーマを編成し、研究開発事業に取り組んだ。

(1) 研究会テーマ

- ・架橋型高発泡ポリエチレン (PE) のマテリアルリサイクル技術開発研究会 (平成29年度～30年度)
- ・廃プラスチックの高度利用による、製鋼反応研究会 (平成29年度～30年度)
- ・紙おむつ再生ポリマーの活用による吸水シート開発研究会 (平成29年度～30年度)
- ・リサイクル資材と微生物を活用した土壌改良材の開発研究会 (平成30年度)
- ・濃縮バイオ液肥開発研究会 (平成30年度)
- ・酸化還元プロセスを利用した次亜リン酸酸化と、生成物の肥料化に関する研究会 (平成30年度)
- ・パワーデバイス用硬脆ウエハリサイクル研究会 (平成30年度～令和元年度)

(2) 共同研究プロジェクトテーマ

- ・絶縁油再生処理事業化共同研究プロジェクト (平成29年度～令和元年度)
- ・フードバンクを活用した食品ロス削減推進共同研究プロジェクト (平成29年度～令和元年度)
- ・金属産廃を放熱性素材として有効活用した循環型社会を実現するプロジェクト (平成30年度～令和2年度)
- ・朝倉市におけるメタン化食品リサイクルループプロジェクト (平成30年度～令和2年度)

(3) 研究成果発表会及び展示会

リサイクル総合研究事業化センターの研究成果について発表会を行うとともに、各種展示会等に出展し情報発信した。

- ・2018 NEW環境展 平成30年 5月22日 ～ 5月25日 (東京ビッグサイト)
- ・ビジネスショウ&エコフェア2018 平成30年 6月20日 ～ 6月21日 (福岡国際センター)
- ・研究成果発表会 平成30年 6月20日 (福岡サンパレス)
- ・エコテクノ2018 平成30年10月10日 ～ 10月12日 (西日本総合展示場)
- ・2018年国際生態環境新技術大会 平成30年10月22日 ～ 10月23日 (中国南京市 南京国際博覧中心)

2 環境情報事業

環境リサイクル技術や社会システムに係る情報を収集し、リサイクル技術や県内及び九州各県企業の紹介並びにリサイクル総合研究事業化センターの共同研究や活動についての情報をインターネットにより発信した。

3 福岡県リサイクル製品認定制度への支援

福岡県リサイクル製品認定制度において認定を受けた製品について、リサイクル総合研究事業化センターホームページで認定制度の概要及び認定製品紹介を行った。

4 事業化研修、3R研修

企業、市町村、共同研究者等を対象に、北九州市で事業化に関する研修を実施した。

また、自治体、保健福祉環境事務所の環境・リサイクル担当者を対象に、大木町とみやま市で3R研修及び見学会を開催した。

- ・事業化研修 平成30年10月12日
 テーマ：アジアのプラスチック輸入規制のその先
- ・3R研修・見学会 平成31年 2月 4日
 テーマ：住民と取り組むごみ減量～エネルギー利用とマテリアル利用～

5 プロジェクト事業

リサイクルシステムの構築や本県リサイクル産業の振興を図るため、以下の事業を行った。

(1) 食品ロス削減推進事業

製造・流通・小売・消費の各段階で発生する食品ロス（食べられるのに食用にせず廃棄する食品）の削減を推進するため、次のとおりフードバンク活動の普及・促進事業を実施した。

- ① フードバンク団体への支援
 - ・食品提供企業の開拓
 - ・フードバンク活動の安定・強化を支援
- ② フードバンク活動実践事業
 - ・新たな団体に対し、継続的・安定的なフードバンク活動を支援
- ③ フードバンク活動支援システムの構築
 - ・食品トレーサビリティ情報を共有するシステムを開発

(2) リサイクル拠点化促進事業

研究成果の全国への普及を図るため、DVDの作成及び記者発表を行った。

- ① 展示会等で使用する研究成果紹介DVDを作成
 - ・廃棄物を活用した高性能製鋼副資材の開発 (リックス株式会社)
 - ・使用済み切削工具のリサイクル (株式会社丸和技研)

- ② 研究成果により事業化に至った共同研究について、記者発表を実施
- ・「廃棄された人工大理石を活用！金属精錬におけるフォーミング抑制材の使用量削減に成功！」 (リックス株式会社)
 - ・「福岡発、使用済切削工具をリサイクルして耐摩耗鋼板を製造、販売を開始！」 (株式会社丸和技研)

(3) 県産リサイクル製品認定事業

県産リサイクル製品認定制度の利用促進のために、リサイクル製品製造業者への実態調査、認定品目素案・認定基準素案の作成、認定申請に係る現地調査等を実施した。

① 実態調査

平成27年度実施した県内の製造業及び廃棄物処理業の事業者に対するアンケート調査の結果をもとに、リサイクル製品又はその原材料となる再生資源の製造状況等に関する訪問調査を行った。

② 認定品目素案・認定基準素案の作成

県内での製造状況が確認できている以下のリサイクル製品について、個別に認定品目素案・認定基準素案を作成した。

・植物抽出液、木炭・竹炭（土壌改良材）、竹パウダー、エアコンフィルター、水切りネット、かき殻肥料、普通肥料（汚泥発酵肥料等）、強化磁器食器、えそ魚醬、セラミド含有化粧品、布製かばん、エクステリア製品、パーティクルボード、漆喰不焼成ブロック

(4) IoT技術を活用した業務用電気製品の効率的3Rシステム構築事業

平成29年10月に設立した「IoT技術を活用した効率的3Rシステム構築検討会」を「福岡県IoT技術活用3Rシステム推進協議会」に移行し、IoT企業、電子・電気機器メーカー、商業施設等所有企業、リサイクル企業の連携のもと、意見交換や実証試験等を実施した。

(5) 資源循環社会システム実証事業

冷凍冷蔵設備等を再整備し、店舗間循環することによるCO2削減効果を検討するため、食品スーパー等における設備の利用状況の実態調査等を実施した。

なお、本事業は、「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域循環圏・エコタウン低炭素化促進事業）」の一部として実施した。

(6) 太陽光パネルのリサイクル促進事業

使用済み太陽光パネルの確実なリサイクルの実施と回収スキームの確立等を目指して、平成30年7月18日に「福岡県太陽光発電（PV）保守・リサイクル推進協議会」を設立し、協議会委員と意見交換や課題の把握等を行った。

6 その他

環境問題が深刻化しているアジア諸国から参加した環境施策担当行政官等を対象に、環境保全や循環型社会形成に貢献する人材の育成のため、産学官民連携の取組及びその成果を紹介するなど、当センターの取組を積極的に海外に発信した。

その他、当センターの取組や研究成果を広く情報発信するため県内外の自治体や関係団体の視察を受け入れた。

(1) 福岡県国際環境協力事業への協力

福岡県がアジア諸国を対象に実施する国際環境人材育成研修事業において、研修員を受け入れた。

・中国（廃棄物処理・循環利用）コース 2名 平成30年 8月24日